



2025年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月14日

上場会社名 株式会社オキサイド 上場取引所 東
コード番号 6521 URL <https://www.opt-oxide.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長(COO & CFO) (氏名) 山本 正幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役(CSO) 管理本部長 (氏名) 内田 誠二 TEL 0551 (26) 0022
定時株主総会開催予定日 2025年5月29日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年5月29日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期の連結業績(2024年3月1日～2025年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	8,394	27.1	126	—	230	—	△2,703	—
2024年2月期	6,606	—	△983	—	△766	—	△422	—

(注) 包括利益 2025年2月期 △2,458百万円 (—%) 2024年2月期 △273百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年2月期	△243.91	—	△41.5	1.2	1.5
2024年2月期	△41.58	—	△5.5	△4.0	△14.9

(参考) 持分法投資損益 2025年2月期 一百万円 2024年2月期 一百万円

- (注) 1. 2024年2月期より連結財務諸表を作成しているため、2024年2月期の対前期増減率は記載しておりません。また、2024年2月期の自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は、連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	18,206	5,412	29.7	482.09
2024年2月期	19,251	7,610	39.5	691.54

(参考) 自己資本 2025年2月期 5,412百万円 2024年2月期 7,610百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	885	△1,544	1,277	2,239
2024年2月期	△953	△6,142	7,300	1,626

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	8,713	3.8	409	223.8	242	5.0	74	－	6.68

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 （社名） 株式会社オキサイドパワークリスタル

（注）詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年2月期	11,228,823株	2024年2月期	11,005,525株
2025年2月期	796株	2024年2月期	467株
2025年2月期	11,084,595株	2024年2月期	10,155,329株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(連結損益計算書に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、欧米諸国における金融政策の引き締めによりインフレが抑制され、緩やかな回復基調が見られましたが、ウクライナや中東における紛争長期化に伴う地政学リスクの高まりや、中国経済の停滞、米国トランプ政権の通商政策等から先行きへの不透明感が高まっております。一方、日本経済は、エネルギー価格の上昇や急激な為替変動の影響を受けつつも、インバウンド需要の回復や企業の設備投資の持ち直しを背景に、緩やかな回復傾向を示しました。

当社グループの当連結会計年度は、中東における紛争長期化の影響を受け、連結子会社であるRaicol社の業績が低調に推移しました。一方で、半導体事業が順調に回復し、連結ベースの営業及び経常損益での黒字転換を牽引しました。ただし、同ベースの最終損益は、第3四半期に特別損失に計上したのれんの減損損失のため、当期純損失となりました。なお、キャッシュ創出力が回復した結果、当社グループのKPIの一つであるEBITDAマージンは、前期比14.8ポイント増の13.6%となりました。当社グループは、光学事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しておりますが、以下に製品の市場別に売上高の状況等を説明いたします。

新領域事業におきましては、Raicol社が減収となったものの、当社単体ではデータセンター向け新規案件獲得等により増収となりました。当連結会計年度における同事業の売上高は、前期比31.5%増の2,464百万円となりました。

半導体事業におきましては、調達部材の不具合に関する問題はセカンドベンダー製に切り替えることで完全に解決しました。生産効率が大幅に改善したことによる既存製品の出荷増と新製品の研究開発受託が寄与し、当連結会計年度における同事業の売上高は、前期比49.8%増の4,703百万円となりました。同事業の年間売上高としては過去最高を記録しました。

ヘルスケア事業におきましては、既存顧客の需要が減少し、また、新規顧客との取引において納入仕様確定に時間を要したこと、当初計画していた売上が翌期以降にずれ込み、前期比減収となりました。当連結会計年度における同事業の売上高は、前期比23.0%減の1,226百万円となりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高8,394百万円（前年同期比27.1%増）、営業利益126百万円（前年同期は983百万円の損失）、経常利益230百万円（前年同期は766百万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純損失2,703百万円（前年同期は422百万円の損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,045百万円減少し、18,206百万円となりました。これは主に、のれんが1,641百万円、顧客関連資産が1,140百万円減少した一方、建設仮勘定が866百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,151百万円増加し、12,793百万円となりました。これは主に、短期借入金が1,400百万円増加した一方、長期借入金が427百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,197百万円減少し、5,412百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2,703百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ613百万円増加し、2,239百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は885百万円（前年同期は953百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失2,833百万円、減損損失2,723百万円、減価償却費816百万円、売上債権の増加額397百万円、為替差益205百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,544百万円（前年同期は6,142百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,660百万円が生じた一方で、有形固定資産の売却による収入146百万円が生じたこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は1,277百万円（前年同期は7,300百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の純増額1,400百万円、長期借入れによる収入620百万円が生じた一方で、長期借入金の返済による支出918百万円が生じたこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

2026年2月期の業績予想につきましては、以下のとおりの数値を予想しております。

売上高

連結売上高は、8,713百万円（前期比3.8%増）を見込んでおります。

新領域事業におきましては、イスラエル紛争長期化の影響により、Raicol社を取り巻く環境は依然として不透明感が強い状況です。そのため、Raicol社の売上高については、前期比で保守的な見方をしております。同事業の売上高は、前期比19.4%減の1,987百万円を見込んでおります。なお、為替については、1新シェケル＝43.01円にて算出しております。

半導体事業におきましては、レーザ製品のメンテナンス需要が堅調に増加する見込みです。一方で、半導体市場全体の不透明感や、当社顧客のエンドカスタマーである一部大手半導体メーカーの業績動向を踏まえ、新規レーザや単結晶の需要については、前期実績より保守的に見積もっております。同事業の売上高は、前期比3.1%減の4,555百万円を見込んでおります。

ヘルスケア事業におきましては、新規顧客である高性能PETトップメーカーとの取引が2026年2月期より本格化する見込みです。同事業の売上高は、前期比77.0%増の2,170百万円を見込んでおります。

米国の関税政策による影響は、売上高に対してプラス面とマイナス面双方の影響が想定され、現時点でその影響額を合理的に見積もることが困難なため、今後の見通しにはこれらの影響を反映しておりませんが、各事業とも概ね保守的に見積もった予想としております。

営業利益

連結営業利益としては、前期比283百万円増の409百万円を見込んでおります。

主要顧客や製品ごとの過去実績や売上見込みに基づき、購買動向を踏まえた所要変動費を見積もり、限界利益額を算定しております。所要変動費の大半は製造原価における変動費であり、変動販管費は軽微であると見込んでおります。また、限界利益率については、概ね2025年2月期並みの水準を見込んでおります。

次に、減価償却費や労務費を見積もり、製造原価の固定費を算定しております。その製造原価の固定費を限界利益額から減じて売上総利益を算定した結果、製造固定費水準に大きな変動はないことから、前期並みの売上総利益率を見込んでおります。その後、今後の成長に向けた投資を見込んだ研究開発費及び販売費及び一般管理費を算定し、売上総利益から差し引いて営業利益を算定しております。

特に研究開発費については、2026年2月期の収支にとどまらず、2027年2月期以降の業績にも大きな影響を及ぼす重要な要素であるため、グループ内で入念な検証と討議を行い、見積もりを行っております。連結の研究開発投資は、連結売上高対比15.3%を見込んでおります。研究開発は将来の成長に必要な不可欠であり、今後も投資を継続することで、前期の連結売上高対比15.4%と同水準を維持する見込みです。

なお、2025年2月期第3四半期に実施したRaicol社に係るのれん等の減損損失を受け、2026年2月期より同社の償却費は織り込んでおりません。

2026年2月期の連結営業利益率は4.7%を見込んでおりますが、中期的には売上高拡大による固定費率削減や設備稼働率の上昇などを通じて12%程度を目指してまいります。

各四半期の連結営業利益は、第1四半期に215百万円の赤字から始まり、第4四半期には326百万円の黒字を見込んでおります。この利益推移は売上高水準と連動したものとなる見込みで、通期の連結営業利益は409百万円を予想しております。

経常利益

連結経常利益としては、242百万円を見込んでおります。

営業外費用は、主に社債及び借入金の支払利息を見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純利益

税金等調整前当期純利益としては、概ね経常利益並みの利益を見込んでおります。また、法人税等を当社での法人税負担を中心に162百万円、法人税等調整額で45百万円の費用を見込み、親会社株主に帰属する当期純利益としては、前期の当期純損失から黒字転換の74百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準を採用しております。今後の国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,631,297	2,245,402
受取手形	1,035	2,643
売掛金	1,349,647	1,783,867
電子記録債権	11,853	25,619
商品及び製品	207,458	676,140
仕掛品	2,501,779	2,535,984
原材料及び貯蔵品	1,401,026	890,455
その他	455,007	368,162
貸倒引当金	—	△4,119
流動資産合計	7,559,106	8,524,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,592,049	2,568,616
機械装置及び運搬具（純額）	3,909,362	3,979,436
土地	188,068	188,068
建設仮勘定	464,793	1,330,982
その他（純額）	977,352	838,557
有形固定資産合計	8,131,626	8,905,661
無形固定資産		
のれん	1,641,346	—
顧客関連資産	1,140,346	—
その他	262,290	286,646
無形固定資産合計	3,043,983	286,646
投資その他の資産		
繰延税金資産	212,836	193,328
その他	304,157	296,293
投資その他の資産合計	516,994	489,621
固定資産合計	11,692,604	9,681,929
資産合計	19,251,711	18,206,085

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	261,690	366,305
短期借入金	1,500,000	2,900,000
1年内償還予定の社債	7,000	4,500
1年内返済予定の長期借入金	905,866	1,103,366
未払法人税等	32,844	64,625
契約負債	219,238	433,394
賞与引当金	122,200	100,654
修繕引当金	68,880	125,440
製品保証引当金	108,734	121,271
その他	1,375,797	1,127,330
流動負債合計	4,602,253	6,346,888
固定負債		
社債	154,500	150,000
長期借入金	6,638,761	6,211,368
繰延税金負債	237,234	73,611
従業員株式報酬引当金	5,654	9,780
退職給付に係る負債	522	425
その他	2,359	1,128
固定負債合計	7,039,032	6,446,314
負債合計	11,641,285	12,793,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,177,014	3,307,277
資本剰余金	3,633,837	3,764,099
利益剰余金	652,271	△2,051,342
自己株式	△1,591	△1,591
株主資本合計	7,461,530	5,018,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	962	914
為替換算調整勘定	147,932	393,524
その他の包括利益累計額合計	148,895	394,439
純資産合計	7,610,426	5,412,882
負債純資産合計	19,251,711	18,206,085

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	6,606,974	8,394,851
売上原価	4,722,877	5,134,345
売上総利益	1,884,096	3,260,505
販売費及び一般管理費	2,867,233	3,134,184
営業利益又は営業損失(△)	△983,137	126,320
営業外収益		
受取利息	2,358	1,599
為替差益	31,061	208,921
補助金収入	386,864	2,323
助成金収入	1,921	81,822
その他	4,695	8,885
営業外収益合計	426,901	303,551
営業外費用		
支払利息	135,222	147,891
支払手数料	49,805	36,828
その他	25,025	14,785
営業外費用合計	210,052	199,505
経常利益又は経常損失(△)	△766,288	230,366
特別利益		
固定資産売却益	249,355	23,330
補助金収入	2,979	5,196
受取和解金	34,155	—
特別利益合計	286,490	28,526
特別損失		
固定資産圧縮損	2,737	5,009
固定資産売却損	—	0
減損損失	—	2,723,138
棚卸資産廃棄損	—	364,443
特別損失合計	2,737	3,092,590
税金等調整前当期純損失(△)	△482,535	△2,833,697
法人税、住民税及び事業税	9,172	30,276
法人税等調整額	△69,403	△160,360
法人税等合計	△60,231	△130,084
当期純損失(△)	△422,303	△2,703,613
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△422,303	△2,703,613

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
当期純損失(△)	△422,303	△2,703,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	683	△47
為替換算調整勘定	147,932	245,591
その他の包括利益合計	148,615	245,544
包括利益	△273,688	△2,458,068
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△273,688	△2,458,068
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,737,696	2,194,518	1,074,575	△1,311	5,005,478
当期変動額					
新株の発行	1,414,018	1,414,018	—	—	2,828,036
新株の発行(新株予約権の行使)	25,300	25,300	—	—	50,600
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	—	—	△422,303	—	△422,303
自己株式の取得	—	—	—	△280	△280
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	1,439,318	1,439,318	△422,303	△280	2,456,052
当期末残高	3,177,014	3,633,837	652,271	△1,591	7,461,530

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	279	—	279	5,005,757
当期変動額				
新株の発行	—	—	—	2,828,036
新株の発行(新株予約権の行使)	—	—	—	50,600
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	—	—	—	△422,303
自己株式の取得	—	—	—	△280
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	683	147,932	148,615	148,615
当期変動額合計	683	147,932	148,615	2,604,668
当期末残高	962	147,932	148,895	7,610,426

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,177,014	3,633,837	652,271	△1,591	7,461,530
当期変動額					
新株の発行	16,542	16,542	—	—	33,085
新株の発行(新株予約権の行使)	113,720	113,720	—	—	227,440
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	—	—	△2,703,613	—	△2,703,613
自己株式の取得	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	130,262	130,262	△2,703,613	—	△2,443,087
当期末残高	3,307,277	3,764,099	△2,051,342	△1,591	5,018,443

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	962	147,932	148,895	7,610,426
当期変動額				
新株の発行	—	—	—	33,085
新株の発行(新株予約権の行使)	—	—	—	227,440
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	—	—	—	△2,703,613
自己株式の取得	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△47	245,591	245,544	245,544
当期変動額合計	△47	245,591	245,544	△2,197,543
当期末残高	914	393,524	394,439	5,412,882

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△482,535	△2,833,697
減価償却費	715,667	816,636
減損損失	—	2,723,138
のれん償却額	130,699	139,651
顧客関連資産償却額	58,943	62,980
固定資産売却損益 (△は益)	△249,355	△23,330
固定資産除却損	—	6,897
固定資産圧縮損	2,737	5,009
助成金収入	△1,921	△81,822
補助金収入	△386,864	△7,519
支払手数料	49,805	36,828
受取和解金	△34,155	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	3,896
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,504	△21,546
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△42,288	56,560
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	58,451	9,905
従業員株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	5,654	4,125
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△311	△145
未払金の増減額 (△は減少)	△50,706	76,483
前受金の増減額 (△は減少)	△160,302	△43,296
契約負債の増減額 (△は減少)	65,374	212,831
為替差損益 (△は益)	△36,890	△205,130
受取利息	△2,358	△1,599
支払利息	135,222	147,891
売上債権の増減額 (△は増加)	△450,720	△397,271
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△186,915	127,768
仕入債務の増減額 (△は減少)	△216,701	92,202
その他	△26,895	△51,467
小計	△1,113,870	855,979
利息の受取額	2,358	1,448
利息の支払額	△134,334	△146,978
助成金の受取額	1,921	81,432
補助金の受取額	420,239	1,189
和解金の受取額	—	37,455
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△130,088	54,637
営業活動によるキャッシュ・フロー	△953,774	885,164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,676,452	△1,660,574
有形固定資産の売却による収入	300,511	146,686
無形固定資産の取得による支出	△90,549	△48,335
敷金及び保証金の差入による支出	△3,513	△1,297
敷金及び保証金の回収による収入	—	229
貸付けによる支出	△1,284,688	—
従業員に対する貸付けによる支出	△1,559	△518
従業員に対する貸付金の回収による収入	3,217	1,683
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,386,910	—
拘束性預金の払戻による収入	1,288	—
その他	△4,227	17,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,142,884	△1,544,831

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	900,000	1,400,000
長期借入れによる収入	7,100,000	620,000
長期借入金の返済による支出	△3,501,081	△918,846
社債の発行による収入	147,450	—
社債の償還による支出	△157,000	△7,000
株式の発行による収入	2,863,720	223,358
新株予約権の発行による収入	—	23,078
自己新株予約権の取得による支出	—	△22,068
リース債務の返済による支出	△1,805	△1,805
割賦債務の返済による支出	△719	—
自己株式の取得による支出	△280	—
その他	△49,788	△39,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,300,495	1,277,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,268	△4,660
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	188,567	613,349
現金及び現金同等物の期首残高	1,438,024	1,626,592
現金及び現金同等物の期末残高	1,626,592	2,239,942

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 2社

連結子会社名 Raicol Crystal Ltd.

株式会社オキサイドパワークリスタル

当連結会計年度において、株式会社オキサイドパワークリスタルを新規に設立したため、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

(連結損益計算書に関する注記)

減損損失

前連結会計年度(自2023年3月1日 至2024年2月29日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自2024年3月1日 至2025年2月28日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	減損損失 (千円)
イスラエル	その他	のれん	1,582,713
	事業用資産	顧客関連資産	1,133,654
		仕掛研究開発資産	6,770

当社グループは、事業用資産については、事業区分をもとに概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位によってグルーピングを行っており、のれんについては、会社単位でグルーピングを行っております。

当社連結子会社であるRaicol Crystals Ltd.の株式取得により生じたのれん等について、買収時に見込んだ事業計画を下回って推移しており、当初想定していた事業計画の達成が困難であると判断したことから、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額2,723,138千円を減損損失として計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その算定にあたっては将来キャッシュ・フローを13.6%で割り引いて算定しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前連結会計年度(自2023年3月1日 至2024年2月29日)

当社グループは、光学事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ 当連結会計年度(自2024年3月1日 至2025年2月28日)

当社グループは、光学事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり純資産額	691.54円	482.09円
1株当たり当期純損失(△)	△41.58円	△243.91円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△422,303	△2,703,613
普通株主に帰属しない金額 (千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△422,303	△2,703,613
普通株式の期中平均株式数 (株)	10,155,329	11,084,595

(重要な後発事象)

該当事項はありません。